

「八王子車人形」が国の重要無形民俗文化財に！

【令和4年(2022年)1月21日(金)17:00 解禁】

八王子が世界に誇る郷土芸能「八王子車人形」。市では3年をかけて綿密な調査を行い、令和2年に調査報告書を刊行しました。そうした学術調査の成果と、伝承者である西川古柳座の芸が認められ、国の重要無形民俗文化財の指定にふさわしいとして、国の文化審議会から文部科学大臣に答申されました。

今後、官報告示をもって、正式に国の文化財に指定される予定です。

- 1 文化財の名称 八王子車人形
- 2 保護団体 八王子車人形西川古柳座（八王子市下恩方町）
- 3 指定の事由等
八王子車人形は、文楽に代表される、精巧な三人遣いの人形芝居を一人遣いで演技できるよう工夫されたもので、幕末に初代西川古柳（山岸柳吉）によって考案され、多摩地域などに広がりました。かつて多数の座があった車人形のうち、八王子に定着し、現在までその芸を伝えてきたのが「八王子車人形西川古柳座」です。
この度、我が国の人形芝居を知る上で重要な位置を占めるものであり、地域に根ざして伝承された貴重な文化財であるとして、国の文化審議会に評価されました。
これを受けて、「八王子車人形」は八王子市内初の国の重要無形民俗文化財になります。

